

▽発信元・お問い合わせ先はこちら
「人材ビジネスの発展を通じてヒトの成長を迫する」
株式会社ヒューマンビジネス・コンサルティング
TEL : 03-6909-8644/0120-973-644
E mail:info@hb-consulting.jp

企業における派遣社員の活用

7割は現状維持、大企業ほど減少傾向

マンパワー・ジャパンは、派遣先企業1044社を対象に、派遣社員の今後の活用について調査した。調査期間は、10年10月14日～27日。

今後の派遣社員の活用に対して、どのように考えるかについて聞いたところ、73%が「変化なし」と回答。今後、派遣社員を「減らす」と答えた企業は18%、「増やす」と答えた企業が9%だった。全体的に派遣社員の活用は、現状維持と考えている企業が多い。しかし、従業員数1000人以上の企業では、「変化なし」と答えた企業は52%にとどまり、「減らす」は33%に上った。一方、従業員数1000人未満の企業では、「変化なし」が78%と多数を占め、派遣社員の活用に対する意識が企業の規模によって大きく分かれた。

また、派遣社員を増加させると回答した企業のうち、任せたい業務内容は、「営業事務」32%、「営業・販売」18%、「総務・人事」16%だった。企業規模別で見ると、従業員数1000人以上の企業では、「営業事務」10%と同数で、「テレオペレーター」が10%の需要となった。一方、従業員数1000人未満の企業では、「営業事務」が20%、次いで「製造・組立」が10%だった。

派遣社員を「減らす」と回答した企業において、対象となる職種について、どのように対応するかをたずねたところ、「正社員雇用」と答えた企業が34%で、次いで「社内調整」で対応は23%、「契約社員雇用」が18%だった。

総合すると、従業員数1000人以上の企業ほど、派遣社員を減らし、正社員を雇用または、社内調整して、業務を運営しようとする傾向がうかがえる。

平成 23 年 1 月 11 日 月刊人材ビジネス